

所在地 〒552-0002 港区市岡元町3丁目2番18号

TEL 06-6582-8580

FAX 06-6582-0529

校長名 中田 昌彦 (なかた まさひこ)



学校の紹介・校長メッセージ

本校は、昭和49年4月に港区第4番目の中学校として誕生しました。

開校以来、人間尊重を基盤として「知・徳・体」の調和のとれた全人的な教育を目指して教育活動を行ってまいりました。

今までも、本校の様子につきましては学校ホームページを活用しながら情報発信に努めてまいりました。日々の

生徒たちの活動をできる限り正確かつ迅速に皆様にお知らせしたいと考えています。そして、本校生徒たちの生き生きとした活動の様子、また教職員がどのように教育活動を進めているかということをご覧いただければと考えています。

最後になりましたが、教職員一同、皆さんのご入学を心待ちしております。

学校理念(使命)

● 安心・安全な学校 ● 学力・体力の向上 ● 人権尊重の精神

- 生徒、職員が「市岡東中学校に通うのは楽しい」と感じられる学校に
- 保護者が「市岡東中学校に通わせたい」と思える学校に
- 地域が「市岡東中学校のためなら」と考える学校に

教育目標

- よく聞き、よく見つめ、よく考えて正しく判断できる生徒になろう。
- 協力し、自主的にものごとにとりくみ、やりぬく生徒になろう。
- 心身ともに健康な、たくましい生徒になろう。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
- 年度末の校内調査における、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査における、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
- 校内調査において、「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を75%以上にする。
- 校内調査において、「学校での生活は楽しいですか」の項目について、肯定的な回答をする生徒の割合を95%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する生徒の割合を46%以上にする。

- 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比を、同一母集団において経年に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を53%以上にする。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を52%以上にする。
- 校内調査において、「授業の内容を理解できていますか」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。
- 学習者用端末にある「スクールライフノート」の活用を週3回以上実施する。

●令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)		
国語	数学	英語
66	48	43

【成果と課題】 平均正答率で見ると、全国と比較して国語は3.8ポイント、数学は3.0ポイント、英語は2.6ポイント下回った。無解答率は国語と数学が全国平均より1ポイント大きいが、逆に英語は1ポイント小さくなっている。

- 「国語」は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域において全国平均を上回っているが、「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」が下回っている。
- 「数学」は、「图形」の領域において全国平均より6.3%上回ったが、「関数」と「書くこと」において下回っている。
- 「英語」は、「話すこと」、特に「やりとり」の領域において全国平均より7.6%上回った。

・3教科に共通した課題は、「書くこと」である。作文や短文作成、

要約などの取り組みを授業により多く取り入れ、決められた時間内に自分の考えや意見をまとめる機会を増やしていく。

【今後に向けて】

- 学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業改善に取り組んでおり、生徒質問紙の質問内容にある「話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えましたか」の項目で、肯定的な回答が全国平均を上回るよう、自分の考えをまとめの力を育成していかたい。
- 生徒質問紙より、多くの生徒は、国語や数学の勉強が好きだ、授業の内容はよくわかると前向きにとらえている。一方で、家庭学習の時間が全国平均よりも不足していることから、自主的に継続して学ぶ力の育成にも取り組み、基礎学力の底上げを目指していかたい。

●令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横跳び(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅跳び(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	28.78	21.86	38.52	46.69	87.12	7.93	185.04	20.44	37.45
女子	22.60	21.89	44.09	43.70	55.04	9.02	156.50	12.96	45.27

【成果と課題】

男子はシャトルラン・50m走・ハンドボール投げで全国平均を上回った。女子は上体起こし・シャトルラン・50m走・ハンドボール投げで全国平均を上回った。

【今後に向けて】

- 保健体育の授業で、男女ともに柔軟性を高め、体力を向上させるために授業の開始時にランニング、体操、筋力

トレーニングを取り入れている。種目により全国平均を超える成果が出ているが、授業内での運動量の増加や強度を工夫する必要がある。

- 基本的な生活習慣が身についており登校時に遅刻する生徒はほぼいないが、保健体育や家庭科の授業でも食生活、睡眠、栄養の大切さ等、必要な知識を習得させていく必要がある。

主な学校生活のようす



▲通常授業



▲修学旅行



▲体育大会



▲文化発表会

●卒業後の主な進路【過去3年間】

卒業生 R3年度87名、R4年度90名、R5年度107名

進路先の人数は過去3年間の累計で表示

公立高校等

旭(6)、阿倍野(2)、生野、泉尾丘(9)、市岡(8)、今宮(3)、園芸(2)、桜和(4)、大阪わかば、OBF(3)、鹿児島県立古仁屋、教育センター附属、京都府乙訓、柴島(2)、高津(5)、港南造形(2)、金剛、咲くやこの花(7)、清水谷(6)、吹田(2)、住吉、成城、千里、大正白稟(5)、鶴見商業、天王寺(4)、難波支援(4)、西成、西野田工(2)、寝屋川、汎愛(3)、阪南(4)、東(6)、東淀川(5)、日根野、福井、藤井寺、布施、府大高専(2)、港(13)、都島工、桃谷、八尾、山田、夕陽丘(2)、淀商(5)、緑風冠

私立高校等

アナン学園、上宮(3)、追手門学院大手前(2)、大阪偕星(5)、大阪学院大(7)、大阪学芸、大阪成蹊女子、大阪電通大(2)、大阪桐蔭、香ヶ丘リベルテ、関西大学第一、関大北陽(4)、近大附(2)、金蘭会(3)、賢明学院、興國(13)、好文学園(4)、金光藤蔭(6)、彩星工科、四條畷学園(3)、四天王寺(3)、常翔学園(5)、常翔啓光、城南学園(2)、昇陽(9)、星翔、清風、清明学院、宣真(3)、大産大附(6)、大商店園、大商大(3)、浪速、梅花(3)、羽衣、阪南大(3)、東大阪大柏原(2)、ブル(3)、福岡第一、明淨(2)、桃山学院、夕陽丘学園(2)、早稲田損保

専修学校等

飛鳥未来、飛鳥未来きずな、N高、大阪技能、大阪情報コンピュータ(4)、大阪つくば開成(3)、おおぞら高等学院、関西情報、近畿大阪、神戸動物植物環境専門、しんあい高等学院、第一学院(2)、天王寺学館、東朋学園(2)、長尾谷、バンタンゲームアカデミー、ルネサンス大阪(3)、YMCA学院、就職等(2)

学校名等の後ろの()内は2名以上の進学者等の人数を表示しています。